

2014夏休み企画展「文化財に親しもう！」ワークシート

学校名() 年 組

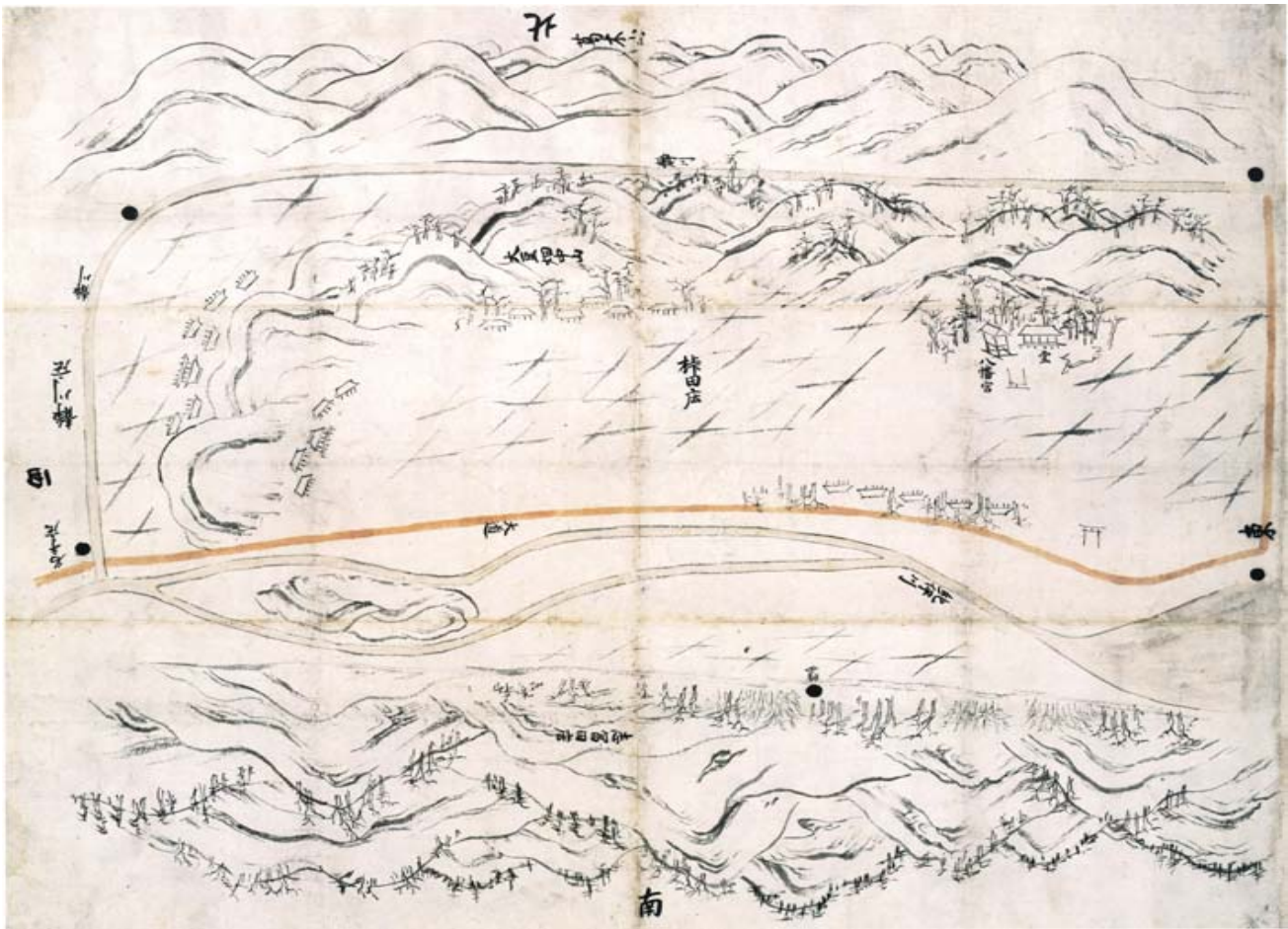
きのくにの荘園

番 氏名

教科書などでは...

奈良時代の中頃になると、人口が増え、口分田が不足してきました。そこで、朝廷は墾田永年私財法を定めて、新たな開墾地であればいつまでも自分の土地にしたいと認めました。そのため、貴族や寺社は、国司や郡司の協力を得て、開墾に力を入れ、広大な土地を独占するようになりました。

その後、紀伊の国では、紀北、とりわけ紀ノ川流域を中心に、その土地に住む人や家などすべてを支配する荘園制が早くから発達しました。



柿田荘絵図(かせだのしょうえず)(1184) 神護寺(じんごじ)蔵

上の左図は、現在のかつらぎ町にあった神護寺の荘園の絵図です。
この絵図は荘園全体の様子が分かる絵図として有名です。どんなことが書かれているか、書き出してみよう。

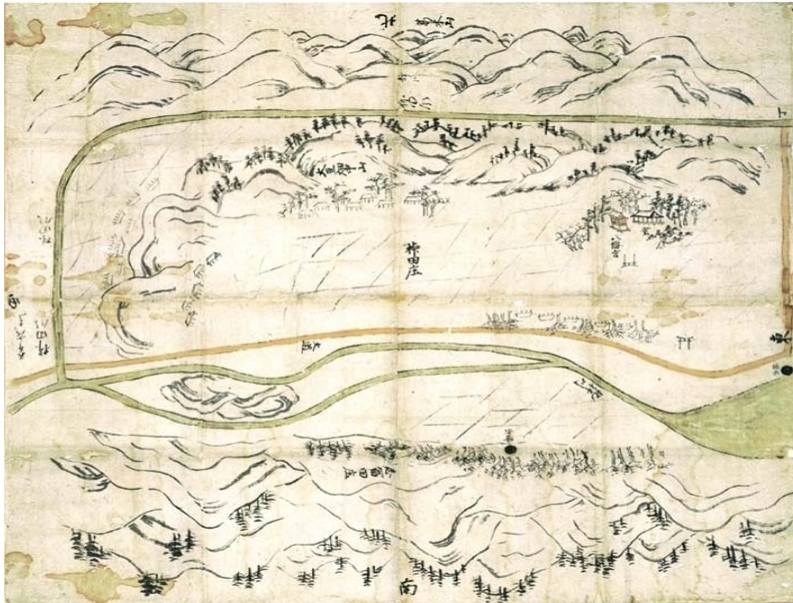
ヒント

- * 図の中の黒い点は何を表しているのだろう？
- * 実際の地図と比べてみよう。

博物館で調べてみよう！

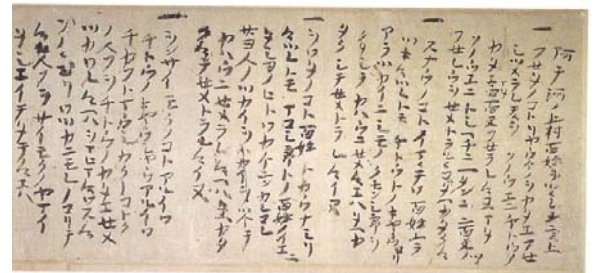
博物館には、約300年後に書かれたもう一枚の杵田荘絵図があります。
博物館へ行って、2枚の絵図を比べて分かることを書き出してみよう。

スタンプを押してね！



杵田荘絵図(1491) 宝来山神社蔵

ヒント： 黒い点はどこにあるか？
荘園の外側は誰の土地か？



カタカナ言上状(一部)

カタカナ言上状は、荘園の農民たちが団結して、荘園領主(本所)の円満院門跡(えんまんいんもんぜき)に地頭のことを訴えた書状です。何が書かれているか調べてみよう。 円満院門跡：滋賀県大津市にある天台宗系のお寺



復元された高野升

左の図は「高野升」と呼ばれる升ですが、何に使うために作られたのか、調べてみよう。

自分で調べたり、博物館で聞いたりしたこと